

ダマスカス市内風景(2007. 5 の大統領信任投票を控えていたため、市内の各地にアサド大統領を支持する横断幕が飾られている)

と大きく異なる。第一部は、昼寝前。仕事や学校に行き、その後、一日のメインの食事である昼食をとり、昼寝で締めくくる。第二部は、昼寝後。日も暮れてから、ショッ能ングにくりだしたり、レストランや喫茶店で友人達と集ったりする。店の営業時間も二部(たいてい九時頃から午後四時頃と、ち送五時頃から夜九時頃)に分かれていることが多い。店主や店員達も一度店を閉めて自宅に帰り昼食をとる。

朝食は出勤前にとるので、仕事の後の昼 関例になっているようだ。しかし、これは 飲みながらサンドウィッチ等をつまむのが だ。職場によっては一〇~一二時にお茶を だ。職場によっては一〇~一二時にお茶を がみながらサンドウィッチ等をつまむのが 関例になっているようだ。しかし、これは あくまで間食にすぎない。

だから、シリア人に午後四時や五時に招かれたら、昼食に招かれたと考えなければいけっして食事をとって出向いてはいけないけっして食事をとって出向いてはいけないと言って、時間が遅いからと言って、を食に招待された。時間が遅いからと言って、たら連絡するという。家庭料理がたらふくたら連絡するという。家庭料理がたらふくたら連絡するという。家庭料理がたらぶく

シリア的ライフ・スタイルに慣れるには時

日が基本的に二部構成である点が日本

郷に入ったら郷に従え、とはいうものの、



かつてのマルジェ市場(1994冬。飾ら れているのは当時まだ健在だった前大統 領の写真)。2006年に都市整備のためこ の市場は閉鎖されたが、市内にはこうし た市場がいくつも存在する



前菜(上方の二つは羊の生肉。オリーブオイルと香辛料等であえて食べる。 全く生臭くなく、ネギトロのような味わい。)



右が代表的シリア料理の一つ、クッベ。ひき肉と砕いた小麦で、

マルジェ市場の肉屋(1994冬)

堵したものだ。

である。これは、特に暑くて体力を消耗す

さて、たっぷり昼食をとったあとは昼寝

案内された。空腹を我慢してよかったと安

難なためである)。悩んだあげく、食べず

に行くと、料理がずらりとならんだ食卓に

うと食事が出された場合、大変なことにな

る(アラブ式もてなしを断ることが大層困

鳴って恥ずかしい。 すがに不安になった。

かと言って食べてしま

空腹で行けば腹

れた時は、昼食ではなくお茶だったかとさ

かってきた電話で、

「五時に来て」と言わ

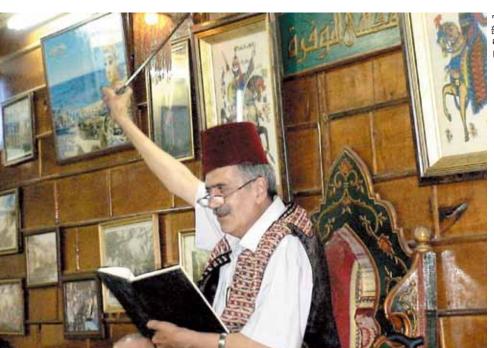
シリアの昼食がかなり遅いことは知

午後二時を過ぎてようやくか

(ひき肉とクルミ等)を包んで揚げたもの

戚宅を訪問しあって、 帰って生演奏を聴き損ねてしまったりする 他にいなくて不安になったり、 まる。このシリア・スタイルを知らない外 わの一〇時半頃、アラブ音楽の生演奏が始 なってようやく客が入り始め、宴もたけな もなくなる。レストランには八時半過ぎに 園のベンチは涼みに出た人々で座るところ は活気をとり戻す。街中は人で賑わい、 は少しは熱気も和らぐこの時間帯から人々 くシリア人と付き合うためにも必要である。 る夏には必須である。また夜遅くまで出歩 夜の約束はたいてい八時か九時。特に夏 外に繰り出さない場合でも、 七時頃にレストランに行って客が ベランダや中庭でお 友人宅や親 さっさと

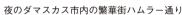
茶やお酒を飲んだり、 料理をつまんだりし



ウマイヤド・モスク近くの喫茶店の語り 部。夜八時頃から昔話や英雄譚などを語 り始める。手に持った棒をたたいて白熱 した合戦シーンを演じているところ

ダマスカス旧市街のアラブ式住居の中庭。テーブルの奥に見えるのは噴水。 こうした中庭で夏の夜はお茶やお酒を 飲みながらおしゃべりを楽しむ





りリフレッシュしたシリア人に同行するのからない朦朧とした状態で、昼寝ですっか

らする。疲れがとれたのか、

増したのかわ

後の寝覚めが悪く、かえって疲れた感じすさ」とのこと。だが、慣れていないと昼寝のだが、シリア人に聞くと「昼寝するから



ボタハコ。主リンコをくりぬいてダハコの果を入れるようになっている変り種 (通常は陶器の入れ物)。 喫茶店でこれをくゆらしながら何時間でも滞在する

私もお洒落なお店で思いっきり

シリアとレバノンだが、ライフ・スタイル歴史的にも文化的にも共有するものの多い

に人気が少なく、

店仕舞

内でも有数の繁華街は、八時買い物をするつもりだった。

**舛いを始めている。** 八時前だというの

ところが、



に身体が慣れるには時間が必要だ。

毎晩遅

しかし、この二部制のライフ・スタイル

くまで出歩いてよく体がもつものだと思う

店々でのショッピングは、シリアに住む者 と夜が待ち遠しくなるから不思議だ。 シリアに来て半年ほど経った頃、隣国レバノンの首都ベイルートに出かけた。国境 越えを含めて車で三時間程度の距離である。 越えを含めて車で三時間程度の距離である。 をし、昼食と昼寝を終えて、夜のベイルートに張り切って出かけた。かつて中東のパーに張り切って出かけた。かつて中東のパートに張り切って出かけた。かつて中東のパートに張り切って出かけた。しかし、慣れてくる これぞシリア的生活の楽しみ方なのだ。のそぞろ歩きや友人たちとの集いは格別だ。焼け付くような日差しに耐えた後の夏の夜焼け付くような日差しに耐えた後の夏の夜ながら、おしゃべりに興じることが多い。



ケバブとトマト。友人宅でのバーベキューにて



泉からの水がごうごうと流れるのを眺めながら食事を楽しむレストラン。ダマスカス近郊に は有名な泉がいくつかあり、観光地化している。(2007春)



る景色は日本の桜にも匹敵する美しさで あんずやピスタチオの花が一面に咲き乱れ といえば砂漠、というイメージばかりだが、 楽しむ人々の姿があった。日本では、中東 咲き乱れており、その下をふらふらと花を すると道の両側いっぱいに、真っ白な花が だが)、ピクニックに行かないか、と言う。 かってきて(シリア人の誘いはいつも突然

正午過ぎ、ダマスカス近郊の果樹畑に到着

ピクニックに昼過ぎから外に出かける。

ある日、大家さん夫妻から突然電話がか

柔らかい日差しににわか雨、木々も芽吹き 花も咲く…。この季節、人々は、お花見や

寒くもなく暑くもない気持ちの良い気候、

しかし、そんな宵っ張りのシリア人が唯

真昼を楽しむ季節がある。



満開の果樹畑と花を楽しむ 人々。ゴミがちらかっている

ところもお花見ならではか

いったのかもしれないが。 夜になるといつものように街中に出かけて さん夫妻は、ピクニックの後、 変わらない、と思ったのだ。もちろん大家 この時ばかりは、日本もシリアもあまり 図書館資料企画課 (たかはし りえ/アジア経済研究所 昼寝をして、

なった。 に自分がシリア化されたかを知るハメに て楽しむのか私には不思議でならず、 は異なるようだ。夜出歩かずに皆どうやっ いか